

ASPworks から ASPworks II への移行ガイド

株式会社 コンピュータ・サービス

1. ASPworks・ASPworks II機能対応

ASPworks と PCtool の基本機能はそのままに以下のように名称が変わります。

ASPworks・PCtool	ASPworks II	説明
資産管理 ASPAalyzer	Analyzer-Pro	COBOL 資産の解析を行い、分析資料作成
CSV ツール ASPConnect	Connect-Pro	オフコンのファイルデータを Windows 端末に出力
メンバ操作 ASPFinder	Finder-Pro	オフコンのメンバを Windows のエクスプローラのように操作
システム情報	ASP-Manager REFSYS ツール ASP-Manager REFSPL ツール	REFSYS/REFSPL 機能
アラートメール	ASP-Manager アラートメール	システムからのメッセージをメールで受け取る
ASPLink	Link-Pro	オフコンと Windows 端末の定型処理を自動化
ASPJoin	Join-Pro	オフコンデータを Microsoft Excel に取り込むためのアドイン
ASPLog	Log-Pro	オフコンの証跡ログを解析
—	FDG-Qucik	ファイル定義体を作成・編集
—	ASP-Manager バックアップツール	オフコンの資産をバックアップ

2. ASPworks プログラム資産について

ASPworks から ASPworks II へ移行する場合、以下のプログラム資産は不要になります。ホストをリプレースする場合などに資産を移行する必要はありません。

2.1. 製品ライブラリ

ASPworks 製品ライブラリです。ASPworks IIでは使用しません。

ライブラリ名	種類	マウント先	説明
ASPWRKCB	EMS		製品ライブラリ
ASPWRKCB	TMS	/usr/local/ASPworks	製品ライブラリ
ASPWRKDT	TMS	/var/ASPworks/DATA	作業用ディレクトリ
ASPWRKLG	TMS	/var/ASPworks/LOG	ログ格納ディレクトリ
DEMOASPW	EMS		デモ・教育サービス
ASPWDEMO	TMS	/var/ASPworks/DEMO	デモ・教育サービス
WWA	EMS		Web アカウント認証

2.2. XUCL ライブラリ

XUCL ライブラリに格納されている ASPworks 関連のメンバです。ASPworks IIでは使用しません。

名前	エンティティ属性	説明
XTX0J010. XUCL	@JOB	ジョブ記述
XTX0J020. XUCL	@JOB	ジョブ記述
XTX0J030. XUCL	@JOB	ジョブ記述
XTX0J040. XUCL	@JOB	ジョブ記述
XTX0J050. XUCL	@JOB	ジョブ記述
XTXWCONF. XUCL	@SRC	動作環境の記入
XTXOM010. XUCL	@MGD	メッセージキュー記述

3. 始動・終了ジョブの修正

ASPwroks から ASPworks II へ移行する場合、始動・終了ジョブの修正が必要になる場合があります。

3.1. WWW サーバ/EX の起動・停止

ASPworks IIは WWW サーバ/EX を使用しません。Webjet など他のサービスで使用しない場合は WWW サーバ/EX の起動・停止コマンドを削除することができます。

コマンド	説明
STRWWW	WWW サーバ/EX の起動・停止
STPWWW	ASPworks IIでは使用しません。

3.2. Web アカウント認証の起動・停止

ASPworks IIは Web アカウント認証のサービスを使用しません。他のサービスで使用しない場合は Web アカウント認証の起動・停止コマンドを削除することができます。

コマンド	説明
STRWACCA	Web アカウント認証のサービス起動・停止
STPWACCA	ASPworks II では使用しません。

3.3. RDA-SV の起動・停止

ASPworks IIは RDA-SV/TCP サーバを使用します。RDA-SV/TCP サーバの起動・停止コマンドを修正する必要はありません。

コマンド	説明
STRRDAT	RDA-SV の起動・停止
STPRDAT	ASPworks II で使用します。

3.4. RSH サーバの起動・停止

ASPworks IIは RSH サーバを使用します。RSH サーバの起動・停止コマンドを修正する必要が有ります。

コマンド	説明
STRRSH	RSH サーバの起動・停止。
STPRSH	ASPworks IIで使用します。パラメータの変更が必要です。

3.4.1. STRRSH コマンドの修正

ジョブ記述を作成します。

```
CRTJOBDD JOBD-XTXVJ010. XUCL, JOBK-@B, TEMP-2048|128, VSIZE-7, RSIZE-5, PUBAUT-@ALL
```

STRRSH コマンドに最大同時実行数とジョブ記述の指定を追加します。

```
STRRSH MAX-20, JOBD-XTXVJ010. XUCL
```

4. WWW サーバ/EX 環境

ASPworks II では WWW サーバ/EX を使用しません。

ASPworks 以外のサービス(Webjet など)で WWW サーバ/EX を使用しない場合、WWW サーバを起動する必要はありません。

Webjet など で WWW サーバ/EX を引き続き使用する場合は、構成定義ファイル(httpd.conf)から ASPworks 関係の設定を削除することができます。

以下一般的な構成定義ファイル(httpd.conf)の削除箇所を赤字で例示します。

設定削除例)

```
Container23Properties /var/httpd/EXENV/AWconf/c23/aspworks.properties
Container23WorkersFile /var/httpd/EXENV/AWconf/etc/workers.wp
NameVirtualHost localhost:80
NameVirtualHost PG6540:80

<中略>

UserDir public_html
ContainerProperties etc/container.properties
<VirtualHost PG6540:80>
Container23Mount /auth/* wk1
Container23Mount /ASPworks/* wk1
Container23Mount /webaccountauth/* wk1
LogLevel error
TransferLog /var/httpd/EXENV/AWconf/log/access.log "size 2 2"
FileETag INode Size Mtime
DocumentRoot /var/httpd/EXENV/AWconf/htdocs
ServerName PG6540
DirectoryIndex index.html
<Location /ASPworks>
WebAccountLoginURI /auth/login.jsp
order deny,allow
require user *
AuthType WebAccount
</Location>
<Location ~ "/^/+webaccountauth/wamngr.*">
order deny,allow
require user *
AuthType WebAccount
</Location>
```

```
</VirtualHost>
<VirtualHost localhost:80>
LogLevel error
TransferLog /var/httpd/EXENV/AWconf/log/access.log "size 2 2"
FileETag INode Size Mtime
ServerName localhost
ScriptAlias /ASPworks-cgi/ /usr/local/ASPworks/cgi-bin/
<Location /ASPworks-cgi>
order deny,allow
require user *
AuthType WebAccount
</Location>
</VirtualHost>
```

5. データ・設定の移行

ASPworks で作成したデータおよび設定ファイルを ASPworks IIへ移行する方法を説明します。

5.1.ASPworks の作業用ディレクトリパスの確認

ASPworks の作業用ディレクトリパスを確認してください。

1. 管理者用アカウントで ASPworks にログインしてください。
2. 【システム管理】－【動作環境設定】へ移動してください。
3. 動作環境設定画面の「作業用ディレクトリ」を確認してください。
 - 標準値:/var/ASPworks/DATA



5.2. ASPworks 資産設定

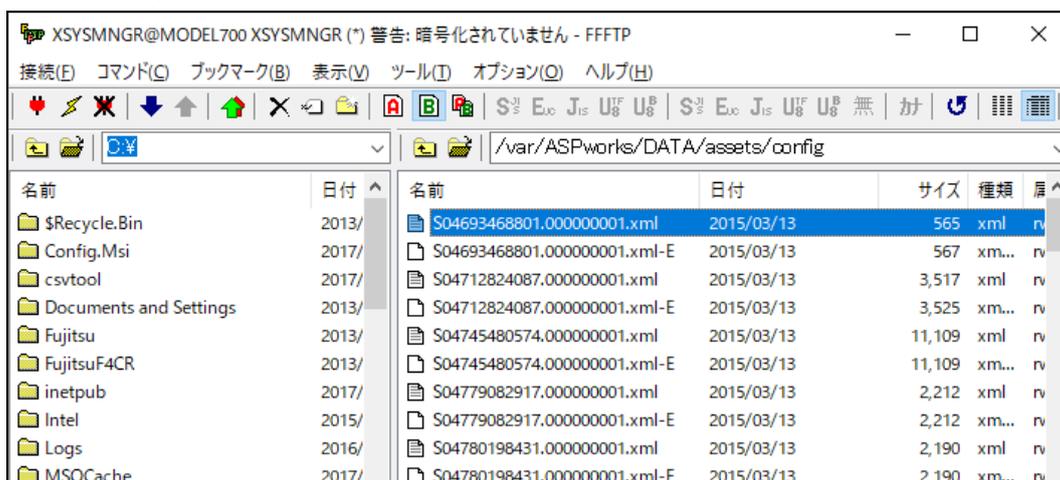
ASPworks 資産解析機能をご利用のお客様は設定ファイルを Analyzer-Pro で使用できる設定ファイルへ変換することができます。

ASPworks の作業ディレクトリから FTP または PC ファイルサーバーを用いて、資産設定ファイルを Windows 端末へダウンロードし変換します。



5.2.1. ASPworks (旧ホスト) の作業

1. FTP など作業ディレクトリを表示してください。
2. 作業ディレクトリの下に「assets/config」ディレクトリを表示してください。
3. 資産設定ファイル(拡張子:xml)を Windows 端末へダウンロードしてください。拡張子 xml-E のファイルは必要ありません。



5.2.2. ASPworks II 移行後の作業

1. ASPworks II Analyzer-Pro を起動してください。
2. 【解析設定】→【ASPworks 資産設定の変換】をクリックしてください。
3. 取り出した資産設定ファイルを選択してください。
4. Analyzer-Pro で解析を実行してください。

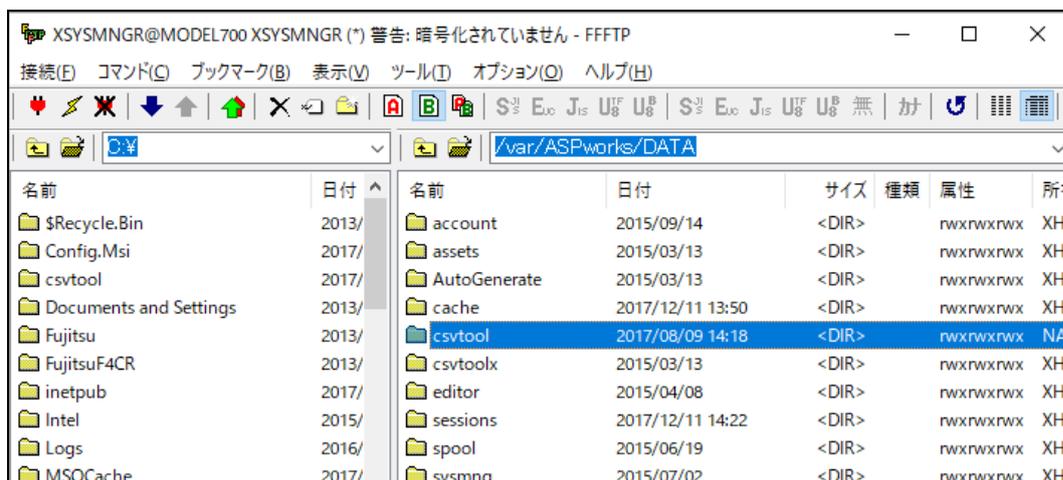
5.3.ASPworks CSV ツール設定

ASPworks の CSV ツール機能をご利用のお客様は、設定を Connect-Pro で使用する形式へ変換することができます。

ASPworks の作業ディレクトリから FTP または PC ファイルサーバーを用いて、CSV ツール設定を Windows 端末へダウンロードし変換します。

5.3.1. ASPworks（旧ホスト）の作業

1. FTP など作業ディレクトリを表示してください。
2. 作業ディレクトリにある「csvtool」ディレクトリを Windows 端末へダウンロードしてください。
※ FTP クライアントソフトによって、ファイルが存在しない空のディレクトリがある場合にダウンロードを中止する動作をするものがあります。



注意事項

FFFTP を使用する場合、以下のエラーが発生し、処理が中断することがあります。

```
>LIST
550 No files found
コマンドが受け付けられません。
ファイル一覧の取得を中止しました。
```

その場合は設定を以下のように変更し、最後まで処理を継続するようにしてください。

オプション →

環境設定 →

転送 1 →

「ファイル一覧の取得に失敗した場合に転送を中止」のチェックを外します。

- CSV ツール設定を印刷することができます。必要な場合は印刷して保管してください。



アイコンをクリックして印刷画面を表示してください。

5.3.2. ASPworks II 移行後の作業

1. ASPworks II Connect-Pro を起動してください。
2. 【ファイル】→【設定ファイル変換】→【Web 版 CSV ツール設定ファイル変換】をクリックしてください。
3. 移行先 ASP ホスト情報、ダウンロードした CSV ツール設定格納先を入力し、変換処理を実行してください。
4. 変換後の設定ファイルは、指定された設定フォルダに“Connect-Pro 用設定”フォルダを作成し出力されます。



制限事項

- ファイル編成が DF、ISF のものは Connect-Pro では未対応となります。
- Web 版の「簡易入力」で設定されたものが Connect-Pro 設定ファイルへ変換できます。
- Web 版の「詳細入力」で抽出条件(自由入力)が設定されているものは Connect-Pro 設定ファイルに変換できません。ただし、抽出条件が設定されていないものは変換できます。
- Web 版のファイル定義体項目の出力設定(CSVデータ作成プログラムカスタマイズ画面)において、レコードの出力が有効になっている場合、Connect-Pro 設定ファイルに変換できません。

注意事項

- Web版では1つ1つの設定ファイルに名前がありませんでしたが、Connect-Proでは1つ1つに名前が必要となります。変換後の Connect-Pro 設定ファイル名は次の規則で保存されます。
 - "ファイル定義体格納ライブラリ名"."ファイル定義体名"- "CSV ツール格納ライブラリ名"."CSV ツール名".csvw
 - "CSV ツール格納ライブラリ名"."CSV ツール名" が重複する場合は後ろに連番が付加されます。
- 正常に変換できたかどうかを、変換ログでご確認ください。

5.4.ASPworks CSV ツール

ASPworks CSV ツールで作成したプログラム(EB)はそのまま使用することができます。ホストをリプレースする場合は、プログラムが格納されているライブラリを SAVLIB コマンドで退避し、新しいホストへ移してください。ただし、Join-Pro では起動できません。コマンドラインで起動してください。

5.5.ASPConnect

ASPConnect で作成した設定ファイル(拡張子:csvc)を Connect-Pro で使用できる設定ファイルへ変換することができます。

1. Connect-Pro の【ファイル】－【設定ファイル変換】－【ASPConnect 設定ファイル変換】をクリックし、ASPConnect で作成した設定ファイルを選択してください。

ASPConnect 設定ファイル変換

ASPConnect で作成された設定ファイルを Connect-Pro の設定ファイルに変換します。

1. ホスト選択
ホスト名 ホスト名を選択してください

2. ファイル選択
変換対象ファイル

3. 変換実行 ※ 変換元ファイル名が「A.csvc」の場合、「A.csvw」として変換元ファイル格納フォルダに保存されます。同名のファイルが存在する場合は保存されません。

変換ログ

5.6. ASPJoin

ASPJoin で作成した Excel ファイルは、CSV ツール以外の機能はそのまま Join-Pro で使用することができます。

5.7. ASPLink

ASPLink で作成した設定ファイルはそのまま Link-Pro で使用することができます。